

5. 家族との連絡方法

■災害用伝言ダイヤル 171

>>> 【1⇒録音 2⇒再生】

災害地の方は自宅の電話番号をダイヤル

災害地以外の方は災害地の方の電話番号をダイヤル
注)この時、必ず市外局番からダイヤルする

>>> 【1#】

>>> 【録音・再生(録音30秒以内)】

注)録音された伝言は最大48時間保存

>>> 【9#】終了

事前に下記ホームページを見ておくこと
<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

■平常時にリハーサルを!

1. 携帯電話の伝言板体験:

毎月1日、正月3日間(1月1日00:00~1月3日24:00)

防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)

防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

2. 安否情報の提供されるお勤め先ビル、学校名は
下記ホームページでの情報リストで事前確認を!

<http://www.1242.com/bousai/otsutome>

<http://www.1242.com/bousai/gakkou>

6. 災害用伝言板の利用

【インターネット・携帯電話】

■1. サービスの開始

【インターネット】大規模災害が発生した場合、被災地域(避難所等含む)の居住者がインターネットを経由して伝言板サイトにアクセスし、伝言情報を登録する。

【携帯電話】大規模災害が発生した場合、携帯電話のトップメニューに「災害用伝言板」が表示される。

■2. メッセージの登録方法

【インターネット】(災害用ブロードバンド伝言板(web171)の利用方法)
<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>

【携帯電話】(下記QRコードから「災害用伝言板」へアクセスを!)

●NTTドコモ ●ソフトバンクモバイル ●au(KDDI)



■3. メッセージの確認方法

<会社別: 下記QRコードから「災害用伝言板」で確認を!>

●NTTドコモ ●ソフトバンクモバイル ●au(KDDI)



7. 帰宅支援方法《準備編》

東京都では16幹線道路を「帰宅支援対象道路」に選定し、この道路から2km以内にある学校等を「帰宅支援ステーション」として開設する。

■帰宅準備

①帰宅ルートを決める

*広い道路を使って、帰宅ルートを決めよう。

<支援道路>

第一京浜、第二京浜、中原街道、玉川道り、甲州街道、青梅・新青梅街道、井の頭通り、五日市街道、川越街道、中山道、北本通り、日光街道、水戸街道、蔵前橋通り、環状七号線、環状八号線

②1日20kmが徒歩の限界。近い目標を決める

*革靴10km、スニーカーでも20kmが限界。
親戚や公共施設、コンビニ、ガソリンスタンドなど中継点を定めよう。

*離れた鉄道駅の運行情報が確認できたら、その場所を目指すことも考える。

*日没までに歩ける地点を定めよう。

■必需品

③必要な物を揃えよう

携帯ラジオや地図、菓子やペットボトル飲料、ティッシュペーパー等を持って、近くの目標を目指して、いざ出発。

8. 帰宅支援方法《実践編》

電気や水等のライフラインが使えない中で帰宅行動をとる時は、様々な危険が伴うものと覚悟せよ。火災やガラス、看板などの落下物にも注意しよう!

■帰宅途中

④安全に帰宅する

*歩いてみると道中はかなり長い。

次の「安全帰宅の10か条」をしっかり頭に入れよう。

【安全帰宅の10か条】

- あわてず騒がず状況判断(火災や風向きも)
- 風評に惑わされず正確情報(携帯ラジオで)
- 余裕の行動計画(夜間は危険と心得よ)
- 広い道路の中側を歩く(塀や細い道は避ける)
- 短距離の目標の積み重ね
- 季節に応じた冷暖準備(携帯カイロやタオルなど)
- スニーカーや履き慣れた柔らかい靴で
- 机の中のお菓子は簡易食料になる
- 家族と安否を確認(災害伝言やボイスメールで)
- 声を掛け合い、助け合おう

■運転中

—公共交通や自家用車の中—

*公共交通機関で被災したときは、係員の指示に従い、身勝手な行動は起こさないこと。

*自家用車は、通行の邪魔にならない場所に停車して、エンジンを止め、キーは車内に置いたまま避難しましょう。